

行楽の秋は、
 おでかけ日より。



- 2 特集 知っておきたい感染予防策
 —新型インフル最新情報—
- 6 観光公社設立準備室スタート
- 8 ニュースワイド
- 11 クラスタのまち実現プロジェクト
- 12 市政トピックス
- 14 カメラレポート
- 18 健康広場
- 19 お知らせ

日本最大級のコスモスセレクションが楽しめる備北丘陵公園秋まつり。10月18日(日)まで開催中。この他、行楽の秋は、市内各地でイベント満載。20ページからの催しコーナーを確認し、おでかけください！



陸上部の名誉をかけた激走 (平成21年9月6日撮影)

Vol.5
 庄原中学校の体育祭

しよばら
 百景
 SHOBARA
 HYAKKEI

応募方法
 写真を通して庄原市の魅力を再発見するコーナーです。風景写真はもちろん人物写真でも結構です。あなたの好きな庄原市の風景を写真で紹介してください。またこの写真への思いや撮影エピソードなどを200字程度にまとめ、郵送またはメールでご応募ください。
 応募先
 〒727-8501 庄原市中本町一丁目10番1号
 庄原市企画課広報統計係
 ☎0824-73-1159
 メール kikaku-toukei@city.shobara.hiroshima.jp

わが母校、庄原中学校の体育祭でのひとコマです。「クラブ対抗リレー」で走る選手の頼もしい姿に感動し、ひたすらシャッターを押ししました。優勝するのは陸上部に違いないと思いきや、優勝候補は宿敵野球部だという。「負けたら全員丸坊主」になる約束をしていたらしい陸上部は、名誉と髪を守るために(?!?)激走。第一走者からトップを譲ることなく、美しいフォームと見事なバトンリレーでゴールテープを切りました。
 惜しくも2位の野球部は、ヘッドスライディングでゴールを決めて拍手喝采！胴着姿に裸足の剣道部・柔道部が裾をまくり上げて走る姿や、唯一文化部から出場した将棋部の俊足ぶりも目に焼きついていきます。ユニフォーム姿の選手たちは、実に誇らしげでした。それだけ、日々の練習に打ち込んでいるのだと感じました。
 中学生たちの健闘で立ち昇る砂煙に包まれた秋の日、故郷・庄原の未来が光り輝いて見えたのは、私だけではないでしょう。
 片山優子(三日市町)

広告



毎月見学会を開催しています。



詳しくはフリーダイヤルでお問合せください。また、ホームページでもご覧頂けます。
 0120-356-218
<http://www.sokkuri3.com>

築90年
 2階物置を撤去し吹き抜けにしたリビング



国土交通大臣許可(特-17)第4638号
住友不動産

新築そっくりさん 広島東営業所
 〒739-0011 広島市西条本町7-29(林ビル1階)
 TEL082-431-3525 FAX082-423-1751



板橋小学校
もり しのぶ 校長
曾利 晋三



玄関などに設置された消毒液

始業式後、全校児童に 感染予防を徹底

流行期に入ったということ、9月は子どもたちが楽しみにしていた修学旅行があり、とても心配しました。8月28日の始業式の後、さっそく全校児童に新型インフルエンザについて説明し、手洗いやうがい、消毒液の使い方など、感染予防を呼びかけました。2学期からは、消毒液の設置を10カ所に増やしたり、体温計を各教室に置いてすぐに検温できる体制を整えたり、保護者にも協力をお願いしたり、できる限りの感染予防に努めています。

Influenza measures

保育所には、重症化しやすいと言われている乳幼児が多くいますので、感染予防にはとても気を使っています。特に2歳児ぐらいまでは、おもちゃなどをすぐに口に入れるのが目が離せません。こまめな手洗いやうがいの指導はもちろん、消毒液を混ぜた水で机などを拭いたり、職員が携帯用の消毒液を1本ずつ持ち歩いて、子どもたちの手や気になった所に噴きかけたりしています。また、このたび、加湿空気清浄機を各保育室に設置して、これからの季節に備えています。

携帯用消毒液や 空気清浄機を有効利用



携帯用消毒液



加湿空気清浄機



庄原保育所
みやけ ちかこ 所長
三宅 千幸

特集 influenza

知っておきたい 感染予防策

—新型インフル最新情報—

新型インフルエンザの集団感染が全国各地で広がり、8月下旬から学校や社会福祉施設で、休校や休業が増加しています。この感染拡大に市民一人一人がどう取り組めばよいのか、新型インフルエンザの最新情報を提供します。

新型インフルエンザ発生から今日まで

国内の感染者が確認された5月以降、国や自治体の対応も変わってきています。これまでの経過を振り返り、現在の状況をお知らせします。

世界的な大流行

本 年4月、メキシコにおいて発生した新型インフルエンザ(A/H1N1)は急速に世界中に感染が拡大し、6月12日、WHO(世界保健機構)は警戒水準を最高レベルのフェーズ6に引き上げ、世界的な大流行を宣言

しました。日本においても、5月に初めて国内

の感染者が確認されて以来、全国に広まり、全都道府県で感染者が確認され、広島県内においても多数の感染例が確認されています。特に、通常の季節性インフルエンザが流行しにくい8月～9月の暑い時期に感染が拡大しています。集団感染は7月下旬から増

市内でも8月に集団感染

国 は5月当初、国内での発生を防ぐため空港などでの検疫を実施していましたが、国内でも発生が確

も2件の集団感染が確認されました。8月24日～30日の週では、県内で9件の集団感染が発生。夏休み明け早々に学級閉鎖や学年閉鎖の学校などが数例報告されており、今後もさらに増加すると考えられています。

対策本部を設置

本 市では、5月1日に「新型インフルエンザ対策本部」を設置。

県内や市内で患者が確認された場合は、直ちに学校等の施設の休業やイベントなどを中止する対応策をとることになっていました。また、市民の皆さんへ「うがい」や「手洗い」などの励行をお願いするとともにマスクや消毒液などの備蓄を行ってきました。

しかし、国内での感染者が増加したことや患者の多くは軽症のまま回復していることを受け、国は7月24日に対処方針を変更。これにより、本市でも集団感染が発生したときは、状況に応じて学

級閉鎖などを行います。イベントなどの中止は原則しないことにしました。保健医療課の西田英司課長は「正確な情報に基づき行動することが大切。感染しても多くの方が軽症で回復されており、市民の皆さんには必要以上の心配をすることなく普段どおりの行動をお願いしたい。そして、一人一人が感染は自分が止めるという気持ちを持って感染予防を心がけ、流行期を乗り越えていけるよう協力してほしい」と呼びかけています。

バトンタッチして頑張ろう

広島県北部保健所 岸本所長に聞く

医療機関からの報告で、8月下旬から県北部でも流行期に入ったことが分かりました。今後、感染拡大が心配される中で、どのように予防し、感染した場合はどう対処していくのか、広島県北部保健所の岸本益実所長に聞きました。



広島県北部保健所

岸本 益実 所長

昭和38年9月生まれ。尾道市出身。医学博士。平成19年4月から現職。

● 新型の特徴は

新型インフルエンザは、ほとんどの人が免疫を持っていないので、大流行する恐れがあります。

症状は、高熱やせき、鼻水、のどの痛み、けんたい感など、これまでの季節性インフルエンザと似ていますが、下痢や嘔吐の症状を訴える方は季節性インフルエンザより少し多いと言われています。

特徴としては、慢性呼吸器疾患や慢性心疾患、糖尿病などの持病がある方、そして妊婦や乳幼児、高齢者が重症化しやすいということが挙げられます。

● 予防するには

予防の基本は手洗いとうがいです。外から家に帰った時はもちろん、食事の前、トイレの後など、生活の中でこまめに行いましょう。これからの時期、

● 復帰のタイミングは

完全に感染させる力がなくなる日数は、個人差があり一概に言えません。しかし、熱が下がってすぐは、人に感染させる可能性があり、少なくとも熱が下がって2日間は外出を避けた方がよいでしょう。熱が下がった後も、せきや鼻水など、他の症状がある方は、人に感染させる可能性があります。症状がなくなるまで自宅療養を継続することが適当です。

● 家族の対応は

同居している家族がインフルエンザにかかった場合、まず患者さん自身が家族に感染させないよう、せきエチケットを守ることを心がけてください。例えば、①せきやくしゃみをする

時は、他の人から顔をそらし、ティッシュなどで口と鼻を覆う、②せきやくしゃみを抑えた手をすぐに石けんで洗う、③せきやくしゃみが出ている間はマスクをするなど。

患者さんの使用した食器や衣類は、通常の洗浄や洗濯、乾燥などで消毒ができます。

家族は、できれば患者さんと別の部屋で過ごすことが望ましいといえます。患者さんと接触するときは、なるべくマスクを着用し、患者さんを看護した後は、こまめに手洗いをしてください。特に重症化しやすい方は、これらに注意して確実な感染予防を心がけてください。場合によっては、かかりつけ医に相談することも必要です。感染から発症までの潜伏期間は、通常2〜3日、最長1週間と個人差があります。よくある質問に、患者さんの

インフルエンザだけでなく、ノロウイルスなど冬の感染症も気になります。これらを予防するためにも、手洗いうがいを習慣にすることが大切です。手洗いは、流水と石けんでしっかりと行うことが基本ですが、手荒れが気になる方は、消毒液をうまく使用してください。

流行期に人ごみの中に入るときは、使い捨てのマスクの着用が有効です。表面にウイルスが付きますので、使い終わったら表面に触れないように捨ててください。

予防接種については、ワクチンの接種対象者をどうするのか、新型と季節性の同時接種ができるのかなど、現在国が対策を検討していますので、それが明らかになりましたら情報提供していきます。

● 症状がでたら

インフルエンザの症状が出て医療機関へ行くときは、事前に医療機関へ電話し、その指示に従ってください。医療機関としても、できるだけ感染を防ぎたいと思つていきますので、マスクの着用などは必要です。大きな病院に行かなくても、かかりつけ医で大丈夫です。治療方法は、季節性と同じタミフルやリレンザという薬を病院で処方してもらうことが一般的ですが、かなりの方が軽症で済んでいますので、必ず

家族は感染している可能性があるから、学校や職場は休んだ方がいいの？と聞かれますが、発症してなければ外出されても大丈夫です。また、病院で検査をした方がよいのか聞かれますが、感染初期は、簡易検査を行つてもはつきりしない場合がありますし、疑いだけで病院へ駆け込むと、流行期の病院はパンクする可能性があります。ほとんどの方は軽症で回復されていますので、冷静に対応してほしいと思います。

● 最後に一言

流行期に入っている今、できるだけ地域の中で感染を予防することが大切です。そのためには、一人一人が協力しないといけません。いつ、だれが感染するか分かりませんが、できることはせきエチケット、手洗い、うがいを習慣化すること。そして、日ごろから健康管理に努めてください。

広島県北部保健所では、これからも最新の情報提供に努め、地域の医療機関や自治体と協力して、感染予防に努力していきます。

また、5月から「発熱相談センター」(0824-63-4199)を開設し、市民や施設などの相談を受け付けています。新型インフルエンザへの対応など、分からないことがあります。たら、お気軽にお電話ください。

タミフルやリレンザということではなく、医師の総合的な判断になります。医師の指示通りに薬を飲み、水分補給と十分な睡眠を心がけてください。

● 新型かどうかの判断は

新型インフルエンザにかかっても、軽症で済んでいる方も多く、症状だけでは普通のかぜと見分けることは困難です。通常、典型的な症状があれば、簡易検査を行つて、インフルエンザA型の陽性反応があるか調べます。この段階では、新型か季節性かは分かりません。現在は、インフルエンザの発生動向を把握するために、一部のインフルエンザ患者から採取した検体を調べていますが、全員の検体を新型かどうか調べることはしていません。ただ、通常、季節性は冬場にはやりますから、この時期にはやっているとインフルエンザのほとんどが新型だと言えます。

● 重症化のポイントは

重症のサインは、息切れ、呼吸困難、低血圧、意識障害です。これらの症状が出ると、入院が必要となります。重症化しないためには、早期発見・早期治療が大切です。重症化しやすい持病のある方や妊婦、乳幼児、高齢者は、症状が出たら早めに医師へ相談してください。

Measures Point インフルエンザ 対策のポイント

● 外出から帰った時などは、すぐに流水と石けんで手洗い、うがいをしましょう。

● 睡眠をしっかりととり、偏食せずバランスの取れた食事をし、体力をつけましょう。

● せきエチケットを守りましょう。(1)せきやくしゃみをする際にはティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけ、使用後のティッシュは、すぐにふた付きのごみ箱に捨てる、(2)症状のある方は、マスクを正しく着用し、感染防止に努める)

● 流行期には、なるべく人が集まる場所への外出は避けましょう。

● 症状などからインフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。特に基礎疾患(呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患)がある方や、妊婦、乳幼児、高齢者は合併症を起こしたり、重症化したりする恐れがあるので注意しましょう。

● 医療機関を受診する場合は、あらかじめ医療機関に電話し、受診方法を確認してください。また、受診の際はマスクを着用してください。





「市民が儲ける観光」を支援

観光公社設立準備室スタート

観光は地域における消費の増加や新たな雇用の創出など、幅広い経済効果をもたらすことから、その重要性が国内外で注目されています。そうした中で、市は「感動！観光振興プロジェクト」を平成19年3月に策定し、観光客の誘致と観光消費額の増加を目指す「儲ける観光」の仕組みづくりに取り組んでいます。また、本年8月からは、そのプロジェクトの一つとして、観光振興の専門組織「観光公社設立準備室」を設置しました。その狙いと今後の取り組みについて紹介します。

観光公社 設立準備室の経緯

低い観光消費額

市商工観光課によると、本市の総観光客数は平成19年度に年間260万8000人、その観光消費額は59億1900万円と推計されています。問題は1人当たりの観光消費額。県平均の5572円に対し、本市は2270円と大きく下回っています。商工観光課の岡野茂課長は「豊かな自然の中に多様な観光資源があるが、お金を落とし

てもらおう仕掛けや仕組みが足りない。泊まる・食べる・買う・見るなどのサービス化を図り、多くの人に楽しんでもらえる仕組みが必要」と分析しています。そのため、観光消費額の増加が、観光振興や地域活性化の大きな課題となっています。

専門組織を求め声

本市には、旧市町ごとに計7つの観光協会があり、事務局の商工会を中心に、各地域のイベントの開催や観光案内など、観光振興の中心的な役割を果たしています。しかし、観光協会ごと

に開催されるイベントは、県内外へのPR力が弱く、情報発信に課題がありました。また、それぞれの取り組みをさらに発展させるためには、市全体としての一体的な取り組みが必要だという声もあり、各地域の観光資源を結び周遊ルートの構築や土・日を含む観光情報の提供など、市全体をカバーする観光の専門的な組織体制が望まれていました。

専門組織で幅広い活動が可能

市は各観光協会と協議を重ねる中で、観光事業のさまざまな課題を解決するためには、観光専門組織が不可欠と判断。地域経済の活性化と本市の一体的な発展を目指し、観光事業による地域振興を目的とした「観光公社（仮称）」の設立に取り組むことにしました。

専門的な人材と組織を確保することで、本市へ集客を図るための多様な観光事業の実施が可能となるほか、宿泊・交通を含む観光情報の提供や、ニーズに迅速に対応できると期待しています。

本年度は、国の「ふるさと雇用再生特別交付金事業」を活用し、7つの観光協会を束ねる庄原市観光協会連合会へ観光公社設立業務と観光事業の構築を業務委託。同連合会は、旅行業などの経験者5人を採用し、「観光公社設立準備室」を設置しました。公社の設立には、①競合する業務が

発生した場合は民業圧迫につながる可能性がある、②地域振興を目的とした公社は収益性が低く、財政支援が必要、などの課題もあります。今後、関係団体と連携を図りながら、効果的な観光事業の実施や仕組みづくりを行いながら、より良い経営形態を検討し、平成23年度の公社化を目指します。 ※ふるさと雇用再生特別交付金事業は10/10補助、3年事業。本年度の予算額は2420万円。

観光のプロ集団が始動

8月にスタートした観光公社設立準備室には、観光をはじめさまざまな分野のエキスパートが集まりました。統括の松田幸三さんは、君田温泉「森の泉」の元支配人としても有名で、他のスタッフも旅行

業などの豊富な経験を誇ります。業務を開始して1カ月余りですが、土・日の観光案内をはじめ、本市への集客を図る観光ツアーの企画やモニターツアーの実施、ガイドの育成事業や観光情報の収集や提供など、精力的に動いています。



スタッフ

観光公社設立準備室の業務

地域振興型の観光産業を目指す

- 土、日、祝日も休まず営業し、観光の問い合わせに対応
- イベント、祭り、食事、交通など幅広い観光情報を持つ庄原市の総合案内窓口として機能
- 観光客、ツアー誘致のためのPR活動
- 庄原市の楽しみ方の提案、また「庄原」セミナーの開催
- 集めた情報を分析し、各関係者へその情報を提供する
- ホームページ、ブログを活用し、情報を広く発信、提供する

- 地域密着型ツアーの造成
- 関西以西で1番の広さを持つ庄原市の利点を活かし、それぞれの地域文化を大切にしながら総合的なツアーを造成する
- 各関係組織との連携を強化し、観光客を呼び込み楽しんでもらえる仕組みを作る
- 地域資源をサービス・商品化し、庄原市への観光客数増加と観光消費額の増加を目指す
- 2010年「庄原さとやま体験博（仮称）」の企画と実施
- 専門ガイドの育成
- 積極的にツアー販売を行い、収益事業を展開することができる旅行業の取得を目指す
- 地元特産品の販売促進
- その他収益事業（接遇研修、商品開発など）

【事務所】

庄原市観光協会連合会「観光公社設立準備室」
庄原市中本町2丁目5-6 交流サロンラッキー2階(旧ウツミ屋証券ビル)
☎0824-72-3385



9月4日に行われた業務説明会

7つの魅力を市全体の魅力に

庄原市観光協会連合会
会長 塩本 誠一さん



これまで7つの観光協会はそれぞれの地域でがんばってききましたが、7つが連携した活動が鈍く、市全域を資源とした周遊ルートの作成や、各地域の観光資源をつなぐコーディネートがいまありません。今回、専門能力のある5人を採用したことで、これらの課題解決ができ、観光客にお金を落とすてもらえる仕組み、いわゆる「観光の産業化」ができる大きな期待をしています。今後は、観光資源を商品化するため、ガイドをしませんか、食事を提供しませんか、特産品を開発しませんか、いろいろな形で各地域にアプローチがあると思います。これをビジネスチャンスと捉え、一緒に儲ける観光をつくっていきましょう。

市民が儲ける仕組みを構築

観光公社設立準備室
統括 松田 幸三さん



これまでの観光は名所めぐりなど物見遊山の観光ツアーが定番でしたが、これからは体験を中心とした地域密着型の観光が主流となり、農林業資源をいかに収益に結びつけるかがポイントになります。観光公社設立準備室は、地域資源を魅力的に提供する観光コーディネートとして、地元の宿泊・飲食・買い物・交通の各観光関連業者などと連携を強化し、市民の皆さんが儲ける観光の仕組みづくりを構築していきたいと思っています。そのためには、各地域の観光資源やサービスを提供していただける人材など、どんな情報をお寄せいただきたいと思います。

経済危機対策

Economic measure

子育て応援特別手当(21年度版)

児童教育期の子育て負担の軽減を図るため、対象となる児童がいる世帯に支給される手当です。これは本年度限定の国の経済危機対策です。

対象児童

10月1日現在で庄原市の住民基本台帳に登録があり、生年月日が平成15年4月2日から平成18年4月1日までの児童(平成20年度版は、第2子からでしたが、今回は第1子も対象)

受給できる人

10月1日現在で対象児童がいる世帯の世帯主(対象児童の親とは限りません)で、庄原市の住民基本台帳に登録がある人。

手当の額

対象児童1人当たり3万6000円。

申請方法

庄原市の住民基本台帳上で対象に



なると判断される世帯には、12月中旬に申請書を郵送する予定です。詳細については、後日お知らせします。※住民基本台帳には、外国人登録を含みます。

DV被害者は事前申請を

配偶者によるDV被害者で、住民票の住所地と異なる住所地で対象児童と暮らしている方は、事前申請書と必要添付書類を10月30日までに女性児童課へ提出することで手当の受給が可能となります。詳しくは女性児童課へお問い合わせください。

問い合わせ

女性児童課児童福祉係
☎0824-73-1192
または各支所保健福祉室・市民生活室

失業者に家賃を支給

— 国の住宅手当緊急特別措置事業 —

現在の厳しい雇用情勢を踏まえ、一定要件に該当する方に国の経済危機対策として「住宅手当」を支給します。

支給対象者

- ①申請の日から遡って2年以内に離職(自営の廃業を含む)していること。
- ②離職前に、世帯の生計中心者であったこと。
- ③本市に住所があり、住宅を喪失しその後新たに賃貸住宅を確保していること、または現在居住している賃貸住宅を喪失するおそれがあること。(「喪失するおそれがある」とは、⑤の要件を満たす世帯をいう)
- ④公共職業安定所(ハローワーク)に常用求職の申し込みを行い、求職活動を行っていること。
- ⑤世帯の収入および預貯金の額が次の金額以下であること。
- ⑥国が実施する、住居喪失

次のいずれにも該当する方(原則、これらの事項を証する書類が必要で

支給額・支給期間

- ①支給額は月額家賃とし、次の額を上限とします。(新たに賃貸契約をされる場合は、この額以下の家賃の住宅に限ります)
- ②手当は毎月、家主・不動産仲介業者へ支払います。期間は最長6カ月です。

区分	基準月額
単身世帯	33,000円
2人~6人世帯	43,000円
7人以上世帯	52,000円

その他

- ①支給期間中は、ハローワークでの職業相談(月1回)と、市役所での面接(月2回)が必要です。
- ②詳細については、お問い合わせください。

申し込み・問い合わせ

社会福祉課障害者福祉係
☎0824-73-11210
または各支所保健福祉室・市民生活室

国保

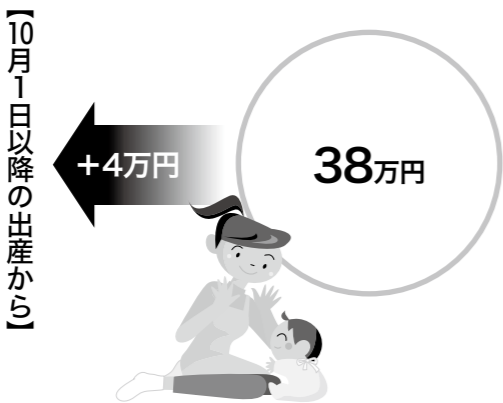
「出産育児一時金」の

支払額と支払方法が変わりました

変更点 1

出産育児一時金の支払額が4万円アップ

【これまで】



変更点 2

出産育児一時金を医療機関が申請・受け取りをする直接支払制度がスタート

【これまで】

原則 被保険者が出産費用を自己負担した後に申請・受け取り
※被保険者の申請により、庄原市国保から医療機関へ直接支払う受取代理制度がありました。事前に申請が必要でした。

【10月1日以降の出産から】

原則 医療機関が被保険者に代わって申請・受け取りをします

※庄原市国保へ申請の必要はありません。※出産費用が42万円未満の場合は差額をお支払います。※被保険者が直接受け取る従来の方法も選べます。



10月1日以降の出産から、出産育児一時金が、出産費用の全国平均である42万円に引き上げられ、医療機関が被保険者に代わって申請・受け取りをする「直接支払制度」が始まりました。

これまで出産育児一時金は、原則として、被保険者が退院時に出産費用を全額支払った後に庄原市国保へ申請し、受け取っていたものでした。

庄原市国保では、これまでも被保険者の出産時の負担を軽減するため、出産育児一時金を直接医療機関へ支払うという「受取代理制度」を設けていましたが、この受取代理制度を利用される場合、予定日前に申請していただく必要がありました。

これからは被保険者が、庄原市国保へ申請していただく必要はなく、医療機関に直接支払制度の利用を申し出るだけでよくなりました。

問い合わせ
保健医療課国保年金係
☎0824-73-1158

庄原駅周辺の都市計画変更

都市整備課市街地整備係
☎0824-73-1173

庄原駅周辺地区土地区画整理事業の都市計画を8月27日付けで変更し、区域面積を約15.5畝から約2.2畝に縮小しました。

平成5年8月に事業区域約15.5畝で都市計画決定を行いました。その後、厳しい財政状況などにより、平成11年に事業の凍結を行い現在に至っていました。

この度、事業内容などの見直しを行い、実施可能な庄原駅周辺地区約2.2畝に区域変更しました。今後、幹線道路網の整備と駅前広場を中心とした交通結節点の機能強化、また庄原市の玄関口としてふさわしい賑わいのあるまちづくりの早期実現を目指します。

なお、庄原市都市計画に関する図書は、庄原市役所2階都市整備課で閲覧できます。



地域木材で家を建てませんか

地域木材住宅建築普及奨励金

市は本年度、森林資源の活用や循環型社会の構築を図るため、市内で生産された木材の利用を促す「地域木材住宅建築普及奨励金」制度を創設しました。地域木材を利用して住宅を新築または改修する方に奨励金を交付します。

住宅建築の際、地域木材は価格が高いというイメージを持たれる方もおられますが、「地域の風土になじんだ木材を使用することで家が長持ちする」など、地域木材への関心が高まっています。

9月末現在の申請数は3件。交付決定第1号の住宅を建築した東城町の(株)山崎木材の山崎照志社長は「近年、建材は価格面ばかりが議論され、地域木材の良さという面はほとんど見られていなかった。この奨励金がつきかけとなり、地域木材の良さが再認識されることを期待したい。また、地域木材を使った家具も補助対象にするなど、どうすれば地域木材の活用が広がるのか、官民が一体となつて考える必要がある」と強調します。奨励金の活用をお考えの方は、早

めに申請をお願いします。なお、本年度中に住宅が完成していても、棟上げなどで地域木材の利用が確認できれば本年度の対象となります。

●対象者
市内に住宅を建築し居住する方、または市内の住宅を改修し居住する方

●対象住宅
一戸建ての木造住宅。新築の住宅は延床面積80平方メートル以上。主要構造部材などに地域材を使用すること。

●奨励金
地域材の使用量により次のとおりです

地域材の使用量	奨励金の額
5 m ³ 以上10m ³ 未満	20万円
10m ³ 以上20m ³ 未満	40万円
20m ³ 以上	60万円

●申請方法
新築住宅は棟上げの20日前まで、改修住宅は工事着手までに、必要書類を農林振興課または各支所へ提出してください。必要書類など詳しくは農林振興課へお問い合わせください。

地域の個性を活かしたまちづくり

クラスタのまち実現プロジェクト



西城探検隊が比婆山へ大人の遠足

地元を歩き新たな魅力を発見しようと、西城探検隊の17人が9月5日、比婆山登山を行いました。

これは、西城地域のクラスタのまち実現プロジェクトの一環として行われ、5月31日に続き2回目。この日は、西城町油木の竹下敦さんの案内で、竜王山駐車場を出発し、竜王山頂、立烏帽子山、池の段を経て、イザナミノミコトの眠る比婆山御陵に向かいました。

説明を聞きながら、のんびりと歩く道筋には、国の天然記念物ブナ純林をはじめとする雄大な自然や史跡、古事記神話の伝承地などが偏在するほか、マツムシソウやイヨフウロといった可憐な草



比婆山頂上で「門楯」の説明を聞く参加者

花が秋風に揺れ、参加者の目を楽ませていました。明治時代に大佐地区の人が一丁ごとに置いた石の道標「丁石」を発見するなど、有意義な大人の遠足となり、参加者は「比婆山の魅力を多くの人に知ってほしい」「これから西城探検隊に参加して、知らなかった西城の魅力を発見したい」と話していました。

西城探検隊は地域住民によるワークショップ西城円卓

会議から生まれた組織。地元の新たな魅力を発見し楽しみながら情報発信しています。

「食」と「農」を学ぶヒバゴンキッチン

地元産野菜の持ち味を引き出す調理法を学び、生産の現場まで元気にしていこうとする料理講座「ヒバゴンキッチン」が9月13日、西城保健福祉総合センターしあわせ館で開催され、地域住民を中心に37人が参加しました。

これは、西城地域のクラスタのまち実現プロジェクトの一環で、「食」と「農」について住民が一緒に学び、考えていく場を作ろうと実行委員会が企画。

今回は、海外生活での経験やセンスを生かし、食の分野で幅広く活躍している料理研究家の谷島せい子先生を講師に招き、西城地域で生産量が増えてきているトマトをテーマに、そのおいしさを引き出す方程式を学びました。参加者は、学んだ理論を小グループの実習で実際に確かめ、谷島先生



谷島先生の話熱心に聞く参加者

考案の西城産トマト料理を試食して素材の持つパワーを実感。「今日習ったおいしさの方程式ですますます楽しく料理できそう」「旨味の組み合わせをいろいろ試してみたい」と話していました。ヒバゴンキッチンは、今後も「食」と「農」が相互に響きあいながら、地域がもっと豊かになるような企画を提案していきます。

バスツアーで比和まちなか活気

比和まちなかぶらりまちあるきプチイベントが8月23日、宿場町の面影が残る比和商店街で開催され、庄原さとやまバスツアーを受け入れました。これは、クラスタのま



地元住民がまちなかを案内

安心・安全な毎日のために

庄原消防署 80824-72-9911
東城消防署 808477-2-4005

地震から身を守るために

先般発生した駿河湾を震源地とする地震により、東名高速道路をはじめ、多くの家屋やライフラインなどが被害を受けました。災害に対する備えと、一人一人の正しい判断による適切な行動があれば、その危険を最小限に抑えることができるのも事実です。

地震への備えは

- ①倒れそうな家具は固定し、落下の危険があるものがないかなど、家中を点検しておきましょう。
- ②懐中電灯や携帯ラジオなど、非常持ち出し品の準備をしておきましょう。
- ③家族で安全な避難経路、場所を話し合っておきましょう。

屋内で地震が起こったとき

- ①テーブルや机の下などにもぐり、落下物から身を守りましょう。
- ②火を使っている場合は、すぐに消しましょう。ただし、揺れの最中は危



- ③揺れの小さいうちに、ドアなどを開けて避難口を確保しましょう。
- ④室内でも、スリッパや靴を履いて行動しましょう。

屋外で地震が起こったとき

- ①バッグなどで頭を保護し、落下物や窓ガラスが飛び散る場所から、安全な場所へ避難しましょう。
- ②切れた電線や垂れ下がった電線には近づかないようにしましょう。

地震後の行動と注意

- ①ガスの元栓を締め、電気器具のプラグを抜きましょう。
- ②テレビやラジオで最新の正しい情報を聞くようにしましょう。
- ③隣近所で、ケガ人を助けたり、初期消火など助け合ったりしましょう。

ち実現プロジェクトの一環として、地域資源を有効活用し、地域活性化を図ろうと比和まちなか活性化推進チームが企画。この呼びかけに賛同した地元住民が、店舗の空きスペースなどを活用し、いにしへの写真展や特産品の販売などを行いました。

広島市からのツアー客38人は、地元住民の案内でゆつくりと散策し、田舎料理や比和自然科学博物館を楽しみました。特に昼食の10割そばと田舎料理は「どこかのツアーで食べた食事よりもおいしくてごちそうだった」と好評。その他、「昔の建物が魅力的だった」「町全体がきれいでゴミのない町」「人柄が温かい」などの感想が聞かれました。



企画課

綿陽市友好代表団が来庄
20周年記念事業を協議

8月25日、友好都市として交流を続けている中国四川省綿陽市から友好代表団6人が来庄し、8月28日までの4日間、市内各地で交流を深めました。

代表団は25日に滝口季彦市長を表敬訪問し、団長で綿陽市人民政府の孫波副市長が「地震に際し多くの義援金をいただき市民を代表して感謝申し上げます。両市の友好交流がさらに発展することを希望する」とあいさつしました。

26日には、来年度、経済技術友好協力協定を締結し20周年を迎えることから、記念事業について協議し、



経済技術友好協力協定締結20周年記念事業の実施に向け議定書を交わす孫波副市長(左)と滝口市長(右)

議定書を交わしました。その後、木質バイオマス実証実験棟や国営備北丘陵公園、県立広島大学、県民の森、道後山クロカンパーク、東城の街並みなど、市内の主要施設や観光施設を視察しました。



生涯学習課

「実力を発揮して」出場者を激励
全国大会等出場者壮行式

全国大会へ出場する選手の壮行式が9月17日、市役所で行われ、出場選手をはじめ関係者や家族などが出席しました。

式では、滝口季彦市長と竹内光義市議会議員が激励のあいさつを行い、出場者に祝金と花束が贈られました。選手を代表して、国民体育大会なごなた競技へ出場する足立朱穂さんが決意表明を述べ、大会での活躍を誓いました。

全国大会出場者(敬称略)

- 全国スポーツ・レクリエーション祭(マスターズ陸上競技800歳・1500歳)
- 波多伸樹(高町)
- 全国スポーツ・レクリエーション祭(フリースポーツ卓球)
- 岩本里美(西本町)
- 全日本杖道大会
- 小林利吉(西本町)
- 堀江亮介(庄原格致高3年)
- 谷口裕基(三次高3年)
- 佐倉康隆(呉高専3年)
- 谷口桃子(三次高2年)
- 全国障害者スポーツ大会(砲丸投げ・ソフトボール投げ)
- 大原一展(西城町)
- 国民体育大会(競泳成年女子平泳)



出場者を代表し、足立さんが決意表明

策進課

市職員が地元住民と集落支援
ボランティア組織「援農隊」がスタート

市職員のボランティア組織「援農隊」の初めての活動が9月5日、口和・高野地区で行われ、地元住民と一緒に草刈り作業などに汗を流しました。

この援農隊は、地元住民と一緒に草刈りや荒廃農地の復旧作業を行い、高齢化が顕著な集落の維持・発展を図ろうと、滝口季彦市長が市職員へ呼びかけて本年9月に結成したものです。

口和地区では、7時から援農隊に応募した職員14人と地元住民3人が参加し、耕作放棄された水田や集落道の草を刈りました。背丈より高



荒廃農地を復旧

い草に悪戦苦闘した後は、トラクタで耕し、そばの種をまきました。地元住民は「時期的に実はつかないかもしれないが、白いそばの花は楽しい」と話していました。また、高野地区では、学校周辺の道路で、クマの出没を防ぐ草刈りを行いました。

高齢者課

市長が長寿者を表敬訪問
100歳以上に敬老祝い金を贈呈

9月の老人保健福祉月間にあわせて、滝口季彦市長が9月14日から28日の4日間に、100歳以上の長寿者を訪問し、敬老祝い金をわたしました。あわせて、9月15日の「老人の日」を基準日として、満99歳と満100歳に贈られる内閣総理大臣からの記念品も伝達しました。

17日に祝い金を受け取った実留町の堀江秀子さんは、「自分でできることは自分でするように心掛けています。畑をつくることで体を動かし、編み物などで指先を使うようにしている」と長寿の秘訣を話し、家族は「適度な運動を毎日続けていたのが良かった



滝口市長の訪問を喜ぶ堀江さん

のかも。いつまでも元気でいてほしい」と話していました。今年の祝い金贈呈対象者(明治43年3月31日以前に生まれた方)は51人、市内最高齢者は106歳の方となっています。

和所口支

ママ・パパいっしょに育児
子ども救急救命講座

口和地域男女共同参画講座実行委員会が9月8日、口和老人福祉センターで「子ども救急救命講座」を開きました。

これは、年間4回シリーズで行う男女共同参画講座の第2回。「大切な子どもを守る責任の重さは母親も父親も同じ」と、夫婦そろっての参加を呼びかけ、乳幼児の保護

者8人が参加しました。

講師の三次消防署口和出張所職員は、乳幼児に起こりやすい病気やけがなどの事例を紹介し、①日ごろから子どもの様子をよく見ましよう、②子どもの目線で危険なものがないか見ましよう、などとアドバイスを送りました。

参加者は「どういう症状になったら救急車を呼べばいいのか」などと熱心に質問し、「万が一の時に慌てないように、このような講座が増えてほしい」と話していました。

今後、この男女共同参画講座では、10月7日にネイル講座、11月13日に助産師さんを囲んで座談会を開催する予定です。



署員が人形を使って対処法を説明



REPORT ③

雪合戦大会が県知事表彰
広島県いきいき地域づくり賞



▲2列目左から3人目が高橋実行委員長

広島県雪合戦大会実行委員会が、「広島県いきいき地域づくり賞」を受賞しました。

この賞は、自主的な地域づくり活動により地域振興や地域活性化に貢献している団体を表彰するもので、今年1月に創設。本年度は10団体が選ばれ、藤田雄山知事から賞状が手渡されました。

表彰式に出席した高橋進実行委員長は「これまでの活動が認められ大変うれしい。これも実行委員をはじめ地域住民、協賛企業、参加者など多くの皆さんのおかげ。この受賞を励みにこれからも頑張っていきたい」と笑顔で話していました。

第13回大会は、平成22年2月6日(土)・7日(日)に開催される予定です。

"笑い"で心の健康づくり
久代でげんきシリーズ

REPORT ④

心と身体の元気づくりを目指す久代公民館の「久代でげんきシリーズ」が9月9日に開催され、約30人が参加しました。

この日は、5回シリーズの第2回目。広島県北部保健所の保健師が「うつ病」をテーマに講演し、うつ病になりやすい人、治療法などをスクリーンで説明しました。その後、笑いの療法士の悠遊亭無彩さんによる落語が披露され、会場が笑いに包まれました。

参加者は「誰かに相談することの大切さや、日々の生活の中に笑いが必要だということを感じた」と話していました。

今後、「久代でげんきシリーズ」では、リハビリ体操や地元の食材を使ったおせち料理などについて学習していく予定です。



▲悠遊亭無彩さんの落語で気持ちをリフレッシュ

REPORT ⑤

活動発表で技術の向上を図る
庄原市読み聞かせ研修・交流会



▲講演する戸井さん

庄原市読み聞かせ研修・交流会が9月9日、口和ヒューマンライツで開催され、市内で活動する「本の読み聞かせグループ」など約60人が参加しました。

本の読み聞かせは、子どもたちの心の安らぎや豊かな感性を引き出すことができます。研修・交流会では、「ふれ愛・高め愛・広め愛の心をみんなへ」をテーマに、庄原市総合サービス棟の戸井妙子さんが「読むよこび」と題して講演。また、「口和本の会」が映像に沿って被爆体験記を朗読したり、各グループによる発表が行われたり、読み書かせ技術の向上を図りました。

このイベントは、口和公民館が初めて行いましたが、参加者は「実行委員会を立ち上げ、来年もぜひ開催しよう」と話していました。

庄原市消防団が初入賞
県小型ポンプ操法競技大会

REPORT ①

広島県小型ポンプ操法競技大会が9月9日、広島県消防学校で開催され、庄原市消防団が6位入賞を果たしました。

この大会は4年に1度開催され、県内各市町から選ばれた24チームが出場。4人で編成されたチームが可搬ポンプを使用し、火点標的を倒すまでの所要時間と団員の動き、操作要領などを競いました。



▲厳しい練習をこなしてきた8人



▲火点標的に向かって放水

出場した庄原市消防団の選手は、庄原方面隊の山内西分団と敷信分団から選抜して構成。4月から練習に励み、庄原市消防団として初入賞という快挙を成し遂げました。県大会入賞は、合併前を含め初めてのこと。

表彰式では、広島県知事から優良賞、そして(財)広島県消防協会から優良杯が贈られました。また、特に優秀であった選手に贈られる優秀番員表彰では1番員の田森裕行選手、3番員の宮本和則選手が選ばれました。

REPORT ②

地域医療の現状を再認識
小児科医を囲み座談会

子育て中の母親11人と庄原赤十字病院の小児科医との座談会が8月12日、庄原子育て支援センター「ひだまり広場」で開かれました。

これは、広報しょうばら8月号の特集「守りたい!地域医療」をきっかけに、本市の小児医療を考えようと、ひだまり広場に集う母親が企画。金丸博副部長から医師不足など小児科の現状について説明を受けました。

金丸副部長は「庄原市の小児科は絶対になくしてはいけないし、なくさないよう広島大学病院の医局へお願いしている」と庄原市への熱い思いを語り、「小児科を守るためには、医師と保護者の信頼関係が大切。このような意見交換を通してお互いに理解を深めましょう」と呼びかけました。

話を聞いた母親は一人一人感想を述べ、「小児科の厳しい現状を初めて実感した。このことを同世代の



▲金丸医師への思いを伝える参加者

お母さんにも伝え、医師を守る取り組みを広げていきたい」などと話していました。

REPORT ⑨

愛町歌から「らくちん体操」を創作
高野健康運動教室で元気の輪



▲座ってできるバージョンも考案

高野支所市民生活室と上高公民館は7月16日と8月21日の2日間、上高公民館で「健康運動教室」を開催し、延べ45人が参加しました。

この教室は、参加者全員で身体にいい体操を創作しようとして、健康運動指導士の大背戸まりこさんを講師に迎え、高野町で昔から親しまれている「愛町歌」に振り付けを考えました。

完成した体操には「高野町らくちん体操」と名付け、DVDを作成。参加者は「激しくなくて、全身を動かせるいい体操ができた。今後各地域の老人クラブやサロンで幅広く活用し、高野地域に元気の輪を広げていきたい」と話していました。

町代表目指し白熱したラウンド
高野町自治振興区グラウンドゴルフ大会

REPORT ⑩

各自治振興区の親睦を図ろうと、高野町自治振興区連絡協議会が9月5日、グリーンサーキット高野でグラウンドゴルフ大会を開催しました。

高野町の11自治振興区から予選を勝ち抜いた24チーム96人が競技に参加。グリーン・林間・フラットの3コース24ホールで白熱したラウンドが繰り広げられました。参加者は、高野町グラウンドゴルフ協会の会員や、この日のために練習を重ねてきた方も多く、ホールインワンが続出し、レベルの高い大会となりました。

団体の部の優勝は中門田Aチーム。個人の部の男女上位5人ずつが秋に開催される庄原市民健康づくりグラウンドゴルフ大会に高野町代表として参加する予定です。



▲和気あいあいの中にもプレーは真剣

REPORT ⑪

もみじの葉で縄文土器風に
帝釈公民館陶芸教室



▲思い思いの器を作る参加者

帝釈公民館の陶芸教室が9月9日に開催され、時悠館の中越利夫所長の指導で、参加者12人が素焼き陶芸に挑戦しました。

この日の陶芸は、ろくろを使わず、粘土を棒状にして重ねていき、手や竹べらで形を整え、貝や縄で模様をつける縄文土器風の器。参加者は形を整えたり、つなぎ目や隙間をなくしたりするのに四苦八苦しながら、時間を忘れて夢中になっていました。イメージした形に整えると、公民館周辺のもみじの葉や実で模様をつけ、乾燥後、野焼きで仕上げました。

参加者は「できた器にこけ玉を載せて飾ったり、寄せ植えをしたりして楽しみたい」と喜んでいました。

REPORT ⑥

感謝の気持ちなど堂々と発表
備北地区中学生意見発表大会



▲日常生活で感じたことを意見発表

中学生が学校や家庭、日常生活での体験を通じて感じたことを発表する「第22回備北地区中学生意見発表大会」(主催:備北青少年健全育成連絡協議会)が8月19日、庄原市ふれあいセンターで開催されました。

この大会に、庄原市と三次市の中学校19校から35人が参加。演壇に立った中学生は、200人を超える聴衆を前にして緊張しながらも、家族や友だちに対する思い、クラブや地域活動を通して感じたこと、社会や政治についての考えなどを5分程度にまとめ、自分の意見を堂々と伝えました。

会場に集まった大人も、次代を担う若い世代からのメッセージに真剣に耳を傾けていました。

農家民泊で農村の良さをPR
三河内地域協議会が受け入れ

REPORT ⑦

小学生たちが農家に宿泊し、農業や昔ながらの暮らしを体験する農家民泊が比和町三河内で行われ、三河内地域協議会が8月25日から27日の2泊3日の日程で、福山西深津小学校の47人を迎え入れました。

比和町を訪れた子どもたちは、三河内地域協議会の12戸の農家へ民泊し、おじいさん・おばあさんの体験談や農作業、牛とのふれあいを楽しみました。また、宿泊先の農家で作ったおにぎりなどを持って登山を満喫し、田舎の良さや大自然の美しさを感じていました。また、8月28日から29日には、上下南・北小学校の48人が農家民泊を体験しました。

農家民泊は、力強い子どもの成長を支える教育活動として広まっており、三河内地域協議会では昨年より小学生を受け入れています。



▲山頂で子どもたちにガイド

REPORT ⑧

文化財を巡り市の魅力再発見
亀谷自治振興区「土曜塾」



▲白雲洞で記念撮影

市内の歴史や文化を学び、ふるさとを大切にする子どもたちを育もうと、総領町の亀谷自治振興区が8月8日、「土曜塾」史跡・文化財探訪の旅を開催しました。

同自治振興区内の子どもたち5人が参加。今回は東城町内をバスで巡り、老舗旅館「三楽荘」や竹屋饅頭本舗、帝釈峡博物館展示施設「時悠館」、白雲洞、雄橋を見学しました。

竹屋饅頭本舗では、特別にできたての「竹屋餅」をいただいたり、帝釈峡で珍しい植物や昆虫を見つけたり、子どもたちは大興奮。「白雲洞で野生のコウモリを見て驚いた。今度はもっと遠くへ行ってみよう」と喜んでいました。

この土曜塾は、同自治振興区の教育文化部が生涯学習活動の一環として平成19年度から始めています。

生活相談
身体障害者補装具判定会
〔聴覚〕 10月15日(木)
 受付 13時～14時
 ところ
 広島県北部保健所
 ※1週間前までに社会福祉課障害者福祉係へ予約を。
 ☎0824-73-1210

人権相談(特設)
 各地域で人権擁護委員が相談に応じます。
●庄原地域
 とき 10月27日(火)
 11月10日(火)
 13時30分～16時30分
 ところ
 庄原市ふれあいセンター

●東城地域
 とき 11月5日(木)
 13時30分～16時30分
 ところ
 東城ふれあいセンター

●西城地域
 とき 11月12日(木)
 13時30分～16時30分
 ところ
 西城公民館

●総領地域
 とき 11月10日(火)
 9時～11時
 ところ
 総領健康福祉センター

総領健康福祉センター
 問い合わせ
 三次人権擁護委員協議会
 ☎0824-62-2527

定期巡回児童相談
 北部こども家庭センター
 が子育てに関する相談に応じます。
●庄原地域
 とき 10月15日(木)・11月19日(木)
 10時～15時
 ところ
 庄原市ふれあいセンター

●東城地域
 とき 10月23日(金)
 10時～15時
 ところ
 東城支所

※1週間前までに東城支所保健福祉室へ予約を。
 ☎08477-2-5131

障害者相談員定期相談会
〔庄原地域〕
●身体 11月9日(月)
 13時30分～16時30分
●知的 11月10日(火)
 13時30分～16時30分
 ところ
 庄原市ふれあいセンター

庄原市役所東城支所
〔高野地域〕
●身体・知的 11月20日(金)
 10時～12時
 ところ
 高野福祉保健センター

※事前予約もできます。
 問い合わせ
 社会福祉課障害者福祉係
 ☎0824-73-1210

無料登記相談所
 司法書士などによる「無料登記相談所」を、毎月第2木曜日に開設します。
 登記申請手続きなど、登記に関することなら、何でもお気軽にご相談ください。
 とき 11月12日(木)
 10時～12時 13時～15時
 ところ
 庄原市ふれあいセンター

問い合わせ
 広島法務局民事行政調査官室
 ☎082-228-5690

秋の行政相談週間【10月19日(月)～25日(日)】

地域	氏名	自宅電話番号	定期相談日	定期相談場所
庄原	中山 忠昭	☎0824-72-5873	毎月第3木曜日 13時30分～16時30分	庄原市ふれあいセンター ☎0824-72-7120
西城	作田ユリコ	☎0824-82-3048	10・12・2月の第3木曜日 13時30分～16時30分	西城保健福祉総合センター ☎0824-82-2202
東城	毛利妃沙恵	☎08477-2-4027	毎月第3木曜日 13時30分～15時30分	東城ふれあいセンター ☎08477-2-0909
口和	石田 涼也	☎0824-89-2022	11・2月の第3木曜日 13時30分～16時30分	口和老人福祉センター ☎0824-89-2320
高野	小川 益丸	☎0824-86-2256	10/19、12/4、2/22 9時～12時	高野支所 ☎0824-86-2115
比和	村尾 孝吉	☎0824-85-2209	毎月第3木曜日 13時30分～15時30分	比和文化会館 ☎0824-85-2600
総領	秋山 義治	☎0824-88-2217	毎月10日 (ただし10月は13日、1月は12日) 9時～11時	総領健康福祉センター ☎0824-88-3110

○都合により、日程を変更する場合がありますのでご了承ください。
 ○定期相談日以外の日にも、各委員の自宅で相談に応じています。
問い合わせ
 市民生活課生活安全係(☎0824-73-1154)または各支所市民生活室

国・県・市などの仕事について、「納得がいけない」「どうしてよいかわからない」「こうしてもらいたい」と思うことはありませんか？
 庄原市には、総務大臣から委嘱を受けた7人の行政相談委員が配置されています。
 おり、市民の皆さんの行政に対する苦情や意見、要望をお聞きし、助言や行政機関との橋渡しをしています。
 相談は無料で秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

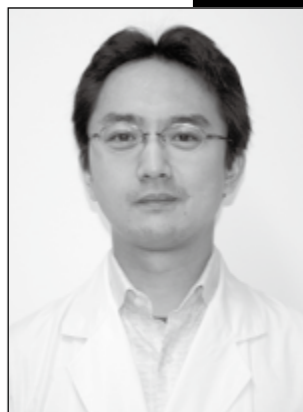
健康広場

healthy column

「肺気腫は怖い?」



肺気腫という病名を知っていますか?名前から肺の病気ということとは分かりますが、あまり聞きなれない病気ではないでしょうか。しかし、肺気腫はここ10年ほどの間に患者数や死者数が増加傾向にあり、特に高齢者の割合が増加しています。



西城市民病院 内科医長

いけん 桂史

肺気腫とは

肺気腫は慢性閉塞性肺疾患の一つで、気管支の先にある肺胞が壊れる病気です。肺胞は気管支の先端に無数にあり、体に必要な酸素を取り入れ、不要な二酸化炭素を排出するときに重要な役目を果たしています。肺胞が壊れると、息を吸ったり吐いたりする機能の効率が悪化し、体に必要な酸素を取り入れることが非常に困難になります。また、一度壊れた肺胞は元には戻りません。

肺気腫の原因

肺気腫の危険因子には喫煙、大気汚染、呼吸器感染症などがありますが、最大の危険因子は喫煙です。一度壊れた肺胞は元には戻らないので、過去に喫煙していた人

肺気腫の症状

も発症します。これまでは喫煙者の多くが男性だったこともあり、肺気腫は男性に多くみられる病気でしたが、同じ条件であれば女性の方が発症しやすいといわれています。現在、女性の喫煙率が高くなっているのも、もっと知ってもらう必要があると思います。

早期の肺気腫では症状がみられないことが多いのですが、慢性の咳や痰が呼吸困難に先行してみられることがあります。進行すると労作時の呼吸困難を自覚するようになり、日常生活に支障をきたすようになります。症状はゆっくりと進行することが多く、肺気腫の症状であっても、本人は年齢や風邪のせいだろうと考えているケースが多く見受けられます。

肺気腫の診断

す。例えば、以前に比べて階段の上り下りや坂道がつかない、風邪を引きやすい、風邪が治っても咳や痰が長く続く、運動の後になかなか動悸が治まらない、ちよつと動いただけでも動悸がするなどの症状は要注意です。

肺気腫と似たような症状がみられる疾患は多く存在するため、肺気腫と他の疾患とを見分ける必要があります。そのため、X線画像検査、呼吸機能検査のほか、心電図、血液検査なども行うことがあります。また、検診で行う胸部単純X線写真では早期の肺気腫の診断は困難ですが、胸部CTでは早期の診断が可能です。

肺気腫の治療

残念ながら壊れた肺胞を元に戻す治療法は今のところありません。自覚症状の改善、進行の抑制、増悪の予防、予後の改善などが治療の目標になります。

喫煙中の人はまず禁煙することが一番です。現在は禁煙を補助するさまざまな薬がありますが、本人の強い意思も重要だと思えます(私も大量に喫煙していましたが、数年前から禁煙しています)。薬物療法は吸入薬、内服薬、貼付薬があり、一定基準値以下の低酸素血症があれば酸素療法も適応となります。

最後に

肺気腫は進行して発見されることが多いため、気になる方は早めの受診をお勧めします。また、発症すると治療が困難なケースも多いため、予防が一番重要です。喫煙は肺気腫だけでなく、肺癌、喉頭癌、胃癌、虚血性心疾患、脳血管障害など、さまざまな疾患との関連が指摘されています。今まで禁煙に失敗した方も禁煙の相談に一度受診されてはいかがでしょうか。

健康相談

広島県北部保健所(三次市十日市東)で実施する健康相談です。事前に電話でご予約ください。秘密は厳守します。

心の健康相談

ストレス、うつ病などの心の健康に不安のある方やその家族からの相談に応じます。

とき 10月20日(火)

13時~14時30分

エイズ検査・相談

検査は無料・匿名で受けられます。結果はその日にお知らせできます。相談は随時受け付けています。

とき 11月11日(水)

13時~15時

申し込み・問い合わせ

広島県北部保健所保健課

☎0824-6315181

催し

ふれあい東城まつり

宮史郎歌謡ショー、美空ひばりそっくりショーなどのステージをはじめ、誰もが参加できるじゃんけん大会、抽選会などでお楽しみください。10月24日には、前夜祭「ふれあいの夕べ」も開

催します。

とき 10月25日(日)

9時~16時

ところ

東城小学校グラウンドほか

問い合わせ

ふれあい東城まつり実行委員会(東城支所地域振興室内)

☎08477-215003

乳がん検診へ行こうよ!

プレステケア・ピンクリボンキャンペーンin東城

マンモグラフィ検診

現在、乳がんは20人に1人の確率で発症しています。決して他人事ではありません。早くがんを発見して治療すれば転移を防ぎ完治の可能性が高まります。

マンモグラフィ検診車がふれあい東城まつりにやってきます。キャンペーンを利用して乳がん検診を体験してみませんか?

とき 10月25日(日)

10時~14時30分

ところ

ふれあい東城まつり会場(東城小体育館前)

対象 市在住の30歳以上の女性

定員 50人

自己負担 1500円

注意事項

授乳中の方、妊娠または妊娠の可能性のある方、心臓ペースメーカーを装着された方、豊胸手術をされている方、v-pシヤント施術者(胸部リザーバー装着された方)は、マンモグラフィ検診を受けることができません。申込方法 電話またはファクス(住所・氏名・年齢・電話番号必要)で10月19日(月)までにお申し込みください。検診の案内を送付します。定員を越えた場合は抽選となりますのでご了承ください。申し込み・問い合わせ 東城支所保健福祉室 ☎08477-215131 FAX08477-215001

東城まちなみぶらり散歩ギャラリー

昔の風情を色濃く残す城下町東城町。そのまちなみ約500坪が期間限定のギャラリーに。商店や民家にお宝や絵画、手作りの作品などが並びます。夜は「灯籠」や「あんどん」が町をやさしく照らします。歩いて、観て、食べて、体験して心癒される東城町

へ訪れてみてください。

とき 10月30日(金)~11月5日(木)

ところ 東城町市街地(上之町~本町~新町)

問い合わせ 東城町観光振興委員会

☎08477-215003

お通り

江戸時代、町の祈禱と五穀豊穡を祈願して、ご神体(御輿)が町内を巡行したことになったといわれている伝統行事。大名行列、武者行列が町を巡行します。年一回の出番を待つて大切に保存されている「母衣(ほろ)」が加わり、勇壮な行列に華やかさを添えます。

とき 11月3日(火)12時~

ところ 東城町市街地

問い合わせ お通り保存振興会

(東城町商工会内) ☎08477-210525

ふれあいまつり

家族みんなで楽しめるふれあいと自然体験いっぱいのお祭りです。

とき 11月7日(土)

13時30分~15時30分(講演)

ところ 備北丘陵公園

「エントランスセンター国兼」2階イベントホール

演題・講師

●中国山地の「慶応義塾分校」

庄原英学校の歴史

館長 武田祐三さん

●庄原英学校と日本の英語教育

県立広島大学

准教授 馬本 勉さん

問い合わせ 田園文化センター

☎0824-7211159

県立三次高等技術専門学校技能祭

とき 10月31日(土)

10時30分~14時

ところ 県立三次高等技術専門学校

内容 実習公開、実習体験、実習作品の即売、食堂など

問い合わせ 県立三次高等技術専門学校

☎0824-6213439

しょうばら菊花展

しょうばら菊友会会員や

とき 10月25日(日)

10時~15時

ところ 高原の家七塚

広島県立畜産技術センター

内容 『高原に広がるこどもの時』をテーマに開催。

山のおそび場(ダンボール滑り台・自然物でつくって遊ぶ他)、ポニーなど動物とのふれあい体験、アトラクション、各種バザー、子ども服のリサイクル、ヨーヨー釣り、小児科医師による勉強会、子育て応援情報。

広島県立畜産技術センター

一般公開では、子牛とのふれあい、搾乳体験、大型トラクターの展示・試乗など盛り沢山の内容でお待ちしています。

問い合わせ こどもまつり実行委員会事務局(女性児童課子育て支援係)

☎0824-7310051

比和やまびこ祭

地元中学生、比和町郷土芸能振興会による広島県無形民俗文化財「比和牛供養田植」や楽しいアトラクション、広島牛も肉の丸焼きなど秋

小学生による力作が展示されます。

期間 11月1日(日)~14日(土)

ところ 庄原市民会館特設会場

問い合わせ 生涯学習課社会教育係

☎0824-7311188

認知症介護予防講座

「元気な町・庄原を次世代へ」をテーマに、地域からの活動報告と講演会を開催します。「いつまでも住みなれたこのまちで安心して暮らしたい」という、みんなの願いをかなえるキーワードは「お互いに支えあい、元気に生きる」です。元気のいいまちを次世代に贈るため、一人一人が「安心して住み続けられるまちづくり」について一緒に考えましょう。

とき 10月31日(土)

13時30分~15時30分

ところ 庄原市民会館

講師 特別養護老人ホーム光の苑施設長 武原光志さん

問い合わせ 介護老人保健施設「愛生苑」

☎0824-7218686

募集

県北部G(おじさんグループ) 8人制サッカー交歓会

(15歳以上の女性も可) 参加費 1チーム3000円 (保険料含む) ※初心者・少人数での参加も大歓迎です。その場でチームを編成します。 申し込み・問い合わせ 上野総合公園陸上競技場 0824-72-7201

20周年記念 県立広島大学市民公開講座(後期)

受講を希望される方は、生涯学習課社会教育係へ電話かFAXで申し込みください。(住所・氏名・電話番号・年齢) 申込締切 10月23日(金) 受講料 テキスト代1000円(初回出席時納入) 定員 80人 講座日程

Table with 5 columns: 回数, 日時, 講座名, 場所, 講師. Rows include topics like '中山間地域における高齢者の生活支援と介護保険' and '豊かなさを育む森と海のきずな'.

※一講座90分です。4回以上講座を受講された方には修了証を交付します。 申し込み・問い合わせ 生涯学習課社会教育係 0824-73-1188 FAX0824-73-1254

「種まき交流会」

希望植物ヒゴタイなどの保全活動を通じて、自然と文化や食にふれていただきます。 とき 10月31日(土) 10時~13時30分 ところ 上野総合公園陸上競技場

吾妻山の紅葉を探る

もみじやカエデ、ブナや高山植物の解説を聞きながら吾妻山を登山します。 とき 10月18日(日) 9時~14時30分 集合場所 ふれあいの里越原(集会所) 定員 30人 参加費 1500円

農業技術大学校学生募集

平成22年度の学生募集で 問い合わせ 比和支所地域振興室 0824-85-3000

卒業生は、県内各地で活躍しています。 学科と定員 本科50人 園芸課程 (野菜・花き・果樹コース) 畜産課程 (肉用牛・酪農コース) 修業年限 2年 受験資格 将来農業に従事しようとする者、および農業・農村の担い手を目指す者で、高卒または同等以上の学力のある者

県民の森イベント

県民の森ホテルに宿泊して、比婆山を中心に近郊の山々を訪ねる「中国山地の自然探訪」のご案内です。 今回は、晩秋の比婆山と紅葉の帝釈の観察です。 とき 11月13日(金)・14日(土) 参加費 1泊3食 1人 1万5000円 日帰り 1人 2000円 募集人員 25人 申し込み・問い合わせ ひろしま県民の森公園センター 0824-84-2011

その他

広島県知事選挙

任期満了による広島県知事選挙が、10月22日(木)告示、11月8日(日)投票の日程で行われます。 住みよい広島県を築くため、投票日には必ず投票に行き、貴重な一票を投じましょう。 投票日時 11月8日(日)7時~18時 ※一部投票所は19時まで

投票所

市内80カ所。投票所は入場券に記載されています。入場券に記載されている投票場所・投票時間をよく確かめて、時間内に所定の投票所で投票してください。

期日前投票

10月23日(金)~11月7日(土)8時30分~20時。市役所(別館)および各支所で期日前投票ができます。

選挙管理委員会事務局

0824-73-1126

地デジ視聴機器の無償給付

総務省では、現在お持ちのアナログテレビで地上デジタル放送を視聴するための機器(チューナー・アンテナ)の無償給付を行います。 対象となる世帯は、①生活保護世帯、②障害者手帳をお持ちの方を含む世帯員全員が市民税非課税の世帯で、NHK受信料の全額免除を受けている世帯です。

受付期間(平成21年度分)

12月28日(月)まで ※平成21年8月末時点で、NHKの放送受信料が全額免除の世帯には、NHKから

ら支援の申込書などが送付されます。

※機器は現物給付です。ご自身が購入されたチューナー、アンテナなどの費用を給付・精算することはできません。 問い合わせ 【制度全般】 総務省地デジチューナー支援実施センター 0570-033840

NHK視聴者コールセンター 0570-000588

庄原市プレミアム付商品券の有効期限は10月末

庄原商工会議所、備北商工会、東城町商工会が発売した「庄原市プレミアム付商品券」の有効期限は、10月31日(土)までとなっております。 有効期限を過ぎた商品券は使用できなくなります。 使い忘れたくないよう、有効期間内にご利用ください。 問い合わせ 商工観光課商工観光係 0824-73-1179

入っていますか?自賠責保険

自賠責保険(共済)は、万一の交通事故の際の基本的な対人賠償を目的として、バイク・原動機付自転車を含むすべての自動車に、法律で加入が義務付けられています。 特に車検制度のない250cc以下のバイクは、期限切れ・かけ忘れに注意してください。 ナンバープレートに貼られている保険(共済)標章(ステッカー)は、保険期間の満了する時期を表示しています。 250cc以下のバイクをお持ちの方は、保険期間が過ぎていないかを確認し、早めに更新するようにしましょう。 なお、自賠責保険(共済)の加入・内容については車両販売店、または自賠責保険(共済)取扱店へお問い合わせください。 問い合わせ 税務課資産税係 0824-73-1144

住民税の年金天引きがスタート

これまで広報2月号や6月号でお知らせしたとおり、10月支給分の公的年金から、市県民税を天引きする(特別徴収制度がスタート)します。 天引きされる金額は、本

年6月10日付けの市民税県民税納税通知書でお知らせしているとおりです。(その後に変更のお知らせをしていない場合もあります) なお、年金天引きを通知されている人であっても、その後に天引きすべき税額が変更になった場合など、途中で天引きが中止されて、普通徴収(納付書または口座振替)で納付をお願いする場合があります。 また、社会保険庁からの通知に、天引きされる介護保険料などの金額が市町村と異なる事例がありました。市から通知する額が正しい天引き額ですので、ご注意ください。 問い合わせ 税務課市民税係 0824-73-1146

不正軽油防止にご協力を

10月は「全国不正軽油撲滅強化月間」です。 自動車の燃料に使用される軽油には、軽油引取税という税金がかかっています。 軽油に灯油などを混ぜた不正軽油の販売や購入は犯罪です。また、不正軽油の使用

Advertisement for e-Tax (電子申告・納税システム) and 庄原法人会 (Shiobara Legal Association). Includes contact information and a QR code.

用は悪質な脱税行為でもあり、同時に、ディーゼル車の排気ガス中の有害物質を増加させるなど、環境汚染の原因にもなっています。 市価と比較して著しく価格が安いなど、不正軽油の疑いのある軽油の情報は随時「広島県不正軽油110番(フリーダイヤル0120-288-110)」までお寄せください。 問い合わせ 北部県税事務所課税課 0824-63-5181

学校へ行こう「週間」

広島県は、毎年11月1日を「ひろしま教育の日」と定め、教育のさらなる充実と発展のためにさまざまな関連行事を行っています。

また、11月1日(日)〜7日(土)の「学校へ行こう」週間では、全県的に学校開放を実施することにより、開かれた学校づくりを一層推進するとともに、保護者や地域の人々の学校教育に対する理解と関心を深め、幼児児童生徒を県民全体で育てていく取り組みを進めていきます。

市内の小中学校では、学校へ行こう「週間」を中心にそれぞれ学校開放を計画しています。ぜひ、地域の学校を参観していただき、子どもたちの姿をご覧ください。

※学校開放を行う日時は各学校により異なります。各学校のホームページをご覧ください。お問い合わせ先は、教育指導課指導係 0824-73-1184

広島県最低賃金の変更

広島県最低賃金が10月8日から時間額692円になりました。

これは、県内の事業場で働くすべての労働者に適用されます。

特定の産業で働く労働者については、広島県最低賃金よりも金額の高い産業別最低賃金が適用される場合があります。

詳しくは、広島県労働局労働基準部賃金室または三次労働基準監督署にお気軽にお尋ねください。

問い合わせ

広島県労働局賃金室 0824-2221-9244 三次労働基準監督署 0824-622-2104

あっぱれ庄原

全国レベルの大会出場者、全国レベルの大会、市が共催する各種大会などの上位入賞者を掲載します。(敬称略)

世界大会

世界水泳選手権

(7月19日〜8月3日・イタリア)

リニア

●競泳女子200メートル平泳ぎ 5位 金藤 理絵(東海大3年)

全国大会

全日本少年少女武道(銃剣道)練成大会

(8月5日・日本武道館)

●団体戦 3位 小奴可剣友会

●中学生女子の部 準優勝 立川 茜(東城中3年)

●小学校の部 敢闘賞 立川 千裕(小奴可小6年)

●小学校の部 努力賞 山崎照太郎(小奴可小2年)



小奴可剣友会

全日本青年銃剣道大会

(8月6日・日本武道館) ●個人戦女子の部 5位 名越 光希(庄原実業高2年)

中国大会

中国中学校 軟式野球選手権

(8月6日〜8日・宇部市野球場等) ●3位 庄原中学校

中国中学校 卓球選手権大会

(8月4日〜8月6日・岡山県総合グラウンド体育館) ●卓球個人戦 8位 中田 一也(庄原中3年)

県大会

県中学校 軟式野球選手権

(7月22日〜23日・佐伯総合スポーツ公園等) ●優勝 庄原中学校 ●3位 西城中学校

県中学校 卓球選手権大会

(7月23日〜24日・呉市総合体育館)

その他

●卓球個人戦 準優勝 中田 一也(庄原中3年)

ワクワクなぎなた フェスティバル (8月21日〜23日・道後山くろカン体育館)

●小学校低学年の部 優勝(ベア)

横畑 斗辰(美古登小2年)

久保 春喜(西城小2年)

●小学校高学年の部 準優勝 久保 寛明(西城小5年)

●中学校の部 優勝(ベア) 森本真由子(西城中3年)

久保 寛明(西城小5年)

●小学校高学年の部 準優勝 久保 寛明(西城小5年)

●中学校男子の部 準優勝 足立 龍那(庄原中3年)

●中学校女子の部 準優勝 森本真由子(西城中3年)

●一般男子の部 5位 木村 辰也(県大大学院)

※該当する方の情報は、企画課広報統計係 0824-73-1159 までお寄せください。

秋まつり

~Cosmos Autumn Festival~

10月18日(日)まで開催中 【期間中は毎日開園】 10月11日(日)は無料入園日 《駐車料金は別途》

備北公園管理センター 0824-72-7000 (http://www.bihoku-park.go.jp/)

備北丘陵公園 だより



日本最大級83品種・150万本コスモス見ごろです。

花の広場に咲くコスモスの品種の多さは日本最大級。花の色や形がこんなにも違うものなのか！と新しい発見もたびたびです。八重咲き、花弁が筒状の花、グラデーションがきれいな花、チヨコレートコスモスなどユニークなコスモスをぜひご覧ください。17日(土)、18日

(日)には「コスモス切花体験」も開催します。

さつやままつり (10月11日)

楽しいアトラクションとフードコーナーで庄原の秋を丸ごと楽しもう！

「ちやぶ台返し」に「丸太切り」、「クイズ大会」に参加してみるのも面白いですよ。庄原産の食材を味わうフードコーナーは、毎回売り切れ続出の人気です。お早めどうぞ。

イベント盛りだくさん

初開催の人力鉄道「人車」体験は、国内でも珍しい人力の鉄道です。「人が手で押して進む往復60分の小さな旅をどうぞ。本物と同じ硬券の切符付き。(1回100円)

また、おなじみ芸備線の歴史を写真と資料で振り返る鉄道展も開催中。庄原の昔を垣間見ることもできます。

備北オートビレッジ情報

「キャンプリーダー研修会開催 参加者大募集!!」

野外活動に興味のある方、野外活動にチャレンジしたい方、初心者の方でも大歓迎！この研修会は、実践を通して楽しく学んで知識や技術を身に付けることを目指したプログラムが特徴です。実施日(予定)

第1回 11月14日(土)〜15日(日) 第2回 12月12日(土)〜13日(日) 第3回 1月16日(土)〜17日(日) 第4回 2月20日(土)〜21日(日) ※各回1泊2日で10時から翌日の14時または14時30分まで

募集人数 20人(18歳以上の方、但し高校生は不可。先着順) 参加費用 初回 4500円 (保険料・食費等を含む) 2回目以降 3000円 (教材費・食費等を含む) 申し込み・問い合わせ 備北オートビレッジ 0824-72-8800

Advertisement for eyeglasses and optical services. Includes text like 'メガネの御用命は「敬ちゃん時計店」及び「メガネハウス タケダ」をご利用下さい。' and '12種類のレンズが選べるセット 《メガネ出来上り価格》 ¥19,000'.

Advertisement for Fujimoto Construction Co., Ltd. (有限会社 藤本工務店). Includes text like '住まいの相談所' and '新・増改築'. Contact info: TEL. (0824) 72-3146, http://www1.ocn.ne.jp/~fujimo-k/index.html

人の動き
平成21年8月末日現在

- 住民基本台帳登録人口
 - 人口 41,343人(前年比-535人)
 - 男 19,616人(前年比-231人)
 - 女 21,727人(前年比-304人)
 - 世帯数 16,089世帯(前年比-25世帯)
- 外国人登録人口
 - 人口 321人(前年比-16人)

市税・水道料金・下水道使用料納付は口座振替が便利です

- 手続きは各金融機関の窓口でお願いします。
※残高確認も忘れないでください。
- 税務課収納係 ☎0824-73-1145
 - 下水道課管理係 ☎0824-73-1175
 - 水道課業務係 ☎0824-73-1197

ふれあい市長室の日程
☎企画課広報統計係 ☎0824-73-1159

- ◎とき 11月14日(土) 9時~12時
 - ◎ところ 高野支所
- ※公務により実施できない場合もあります。
※道路の改良・維持・修繕などの要望、陳情は、事業担当課へお願いします。

献血のご案内
☎保健医療課 ☎0824-73-1155

献血をつぎのとおり実施します。
皆様のご協力をお願いします。

実施日	会場	受付時間
10月28日(水)	ザ・ビッグ 庄原店	11時30分~15時
11月5日(木)	西城保健福祉総合センター(しあわせ館)	10時~11時30分 12時30分~15時

広報日記
6ページで紹介した観光公社設立準備室は、庄原市の観光の起爆剤として、大きな期待を寄せています。そこでポイントになるのは、いかに私たち市民がこれをビジネスチャンスと捉え、行動を起こすのか。地域の力・市民の力が問われるのだと思います。身近にある地域資源やこれまで行ってきたボランティア活動を観光資源として商品化できないか、儲けにつなげられないか、観光公社設立準備室へ自分たちのアイデアや思いを寄せたり、それぞれの観光資源を売り込んだりすることが大切だと思います。☎

犬・猫の引き取り
☎環境衛生課 ☎0824-72-1398

10月・11月の犬・猫の引き取りは、次の日程で実施します。
なお、手続きには認印が必要です。持参してください。

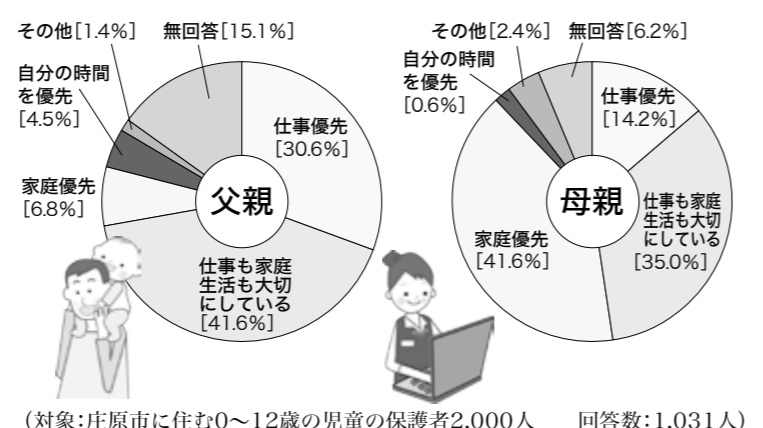
庄原地域	毎月第1~第4火曜日 10月6日・13日・20日・27日 11月10日・17日・24日	11:00~11:10 東自治振興センター 11:25~11:35 市役所車庫 11:50~12:00 敷信自治振興センター
西城地域	毎月第1・第3木曜日 10月15日、11月5日・19日	9:00~ 9:10 西城支所前
東城地域	毎月第1・第3木曜日 10月15日、11月5日・19日	9:40~ 9:50 小奴可研修センター 10:20~10:30 東城文化会館
口和地域	毎月第4木曜日 10月22日、11月26日	11:40~11:50 口和支所前駐車場
高野地域	毎月第4木曜日 10月22日、11月26日	13:20~13:30 高野支所横
比和地域	毎月第4木曜日 10月22日、11月26日	13:50~14:00 比和支所
総領地域	毎月第2水曜日 10月14日、11月11日	9:40~ 9:50 総領支所 (スクールバス駐車場)

※庄原地域の11月3日は、祝日のため定期収集がありません。

男女共同参画コーナー 女性児童課 ☎0824-73-1243
10月は「仕事と家庭を考える月間」です

ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)という言葉聞いたことがありますか?
いきいきと仕事を続けるためには、生活の充実が欠かせません。仕事も家庭も趣味も地域活動も勉強も「全部大事!」と言えるために、あなたの働き方と生活のバランスをこの機会に振り返ってみませんか?

仕事と家庭 どちらを優先していますか?
「庄原市子育て支援に関するニーズ調査」(平成21年4月実施より)



配偶者・パートナーからの
暴力(DV)で悩んでいませんか
~あなたは「ひとり」じゃない~

広島県西部子ども家庭センター 女性相談課
(配偶者暴力相談支援センター・婦人相談所) ☎082-254-0391

広島県北部子ども家庭センター 相談援助課
(配偶者暴力相談支援センター) ☎0824-63-5181 (内線2313)

庄原市役所 女性児童課 ☎0824-73-1243

口和郷土資料館 ☎0824-87-2230
開館日 月・木・土 9時~17時

電気式蓄音機(電蓄)

これは、昭和20年代初めに発売された「電気式蓄音機」です。世間では略して「電蓄」と呼ばれていました。
松下電器産業株式会社(現在のパナソニック株式会社)で作られたもので、本体は丈夫な木製キャビネットに入ったコンソール型となっており、中央部にはドアがついたSPレコード用のプレーヤーが付属しています。この電蓄は、真空管を7本、25cmのスピーカーを内蔵した高級型のもので、ラジオ放送を聴くことができます。
蓄音機は、全く電気を使わないものですが、電蓄は電気モーターやアンプ(増幅器)を内蔵した「電気を使う蓄音機」になります。これにより、ぜんまいを巻く必要がなくなり、レコードを連続して再生できるとともに、大きな音で聴くことができるようになりました。
電蓄は昭和2年にアメリカから輸入され、当時の価格はラジオ付きで3,775円、ラジオなしでも2,300円と、普通の住宅が2~3軒建てられるくらい大変高価なものでした。しかし、昭和10年以後は国内で生産されるようになり、当時で200円くらいにまでになりました。昭和30年代には、高価である電蓄の代用品として、手持ちのラジオに別売りのレコードプレーヤーをつなぐという方法をする人も多くいました。



幅:65cm
奥行き:40cm
高さ:100cm
重量:約35kg

その後、SP盤のみの再生だったものが、LP盤やいわゆる「ドーナツ盤」も再生できるようになり、中にはレコードが10枚まで自動で演奏できる「オートチェンジャー式」のものや「ステレオ」も登場し、音質も格段と良くなりました。電蓄は、現在のすばらしいオーディオ機器の原点でもあり、今のデジタルオーディオ時代へと引き継がれています。
なお、資料館では、年代を代表する「電蓄」を展示しています。「電蓄」は、オーディオに興味をもたれている方をはじめ、多くの皆さんに見ていただきたい機器ですので、ぜひご覧ください。

休日診療のご案内

10月・11月の休日診療については、次のとおりです。

●庄原地域

10月11日(日)	藤野医院	☎0824-72-4646
12日(月)	毛利医院	☎0824-72-2863
18日(日)	戸谷医院	☎0824-72-3131
25日(日)	児玉医院(川北町)	☎0824-72-0147
11月 1日(日)	庄原赤十字病院	☎0824-72-3111
3日(火)	林医院	☎0824-72-0121
8日(日)	戸谷医院	☎0824-72-3131

●東城地域

10月11日(日)	三上クリニック	☎08477-2-1151
12日(月)	東城病院	☎08477-2-2150
18日(日)	こぶしの里病院	☎08477-2-5255
25日(日)	瀬尾医院	☎08477-2-0023
11月 1日(日)	東城病院	☎08477-2-2150
3日(火)	こぶしの里病院	☎08477-2-5255
8日(日)	細川医院	☎08477-2-0054

市民ギャラリー「アート多愛夢」情報BOX

市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。
「読書感想画展」
とき 11月9日(月)~11日(水)
10時~17時
☎庄原市文化協会事務局 ☎0824-72-5453
☎商工観光課商工観光係 ☎0824-73-1179
※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料はおりません。

食彩館しょうばら
ゆめさくら ☎0824-75-4411

- 【10~11月のイベント情報】
- ▶秋の収穫祭
 - とき 10月17日(土)~18日(日)
 - 試食会・もちつき大会・木の実の工作など各種イベントあり
 - ※備北食育ウィーク21イベント同時開催
 - ▶ゆめさくら講座
 - ◎癒しの空間づくりkouza
苔玉教室~竹炭の器で山野を飾る~
とき 10月21日(水)
朝の部 10時30分~12時30分
昼の部 13時30分~15時
 - 参加費 1,500円 定員 各15人
 - ◎草木染め教室
~シルクストール~
とき 11月16日(月)
第1部 9時~12時
第2部 13時~15時30分
 - 参加費 3,900円 定員 各15人
申込締切 11月2日(月)
 - ▶展示 ほか
 - ◎水庄会小品展~水彩画~
期間 10月24日(土)~11月4日(水)
 - ◎秋の灯り展
~竹・かづらのランプシェード他~
期間 11月6日(金)~20日(金)
(主催:やまのおみやげや)

しょうばら九日市

毎月9日は、しょうばら九日市
★出展者募集中! あなたのお店を開こう。
★毎月20日が出店申込締切です。
★申し込みは
交流サロンラッキー ☎0824-72-0075まで

11月
《とき》 11月9日(月) 10時~14時
《ところ》 中本町商店街周辺
(のぼりが目印)
詳しくはHPで <http://kunchi-ichi.main.jp>